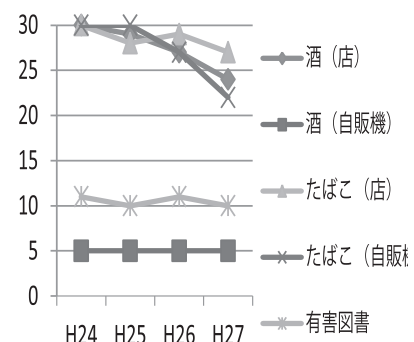


社会環境実態調査 H27.7.4

青少年を取り巻く環境を調査しています。

毎年7月、青少年の非行・被害防止全国強調月間にあわせて店舗を訪問し、酒類やタバコ、有害凶書の販売実態の調査を行っています。タバコやお酒は店売り、自販機とも減少しています。

「自転車のマナーが良くなった。」「大磯の子どもたちはおとなしい。」など、子どもたちの様子も伺うことができました。



研修会 H27.9.17

私たち青少年指導員は、子どもと関わる事業が多いので、万が一の怪我や事故にそなえて心肺蘇生法、AEDの使い方や応急処置の仕方について、消防署員の方に指導を受けました。

AEDは町内の公共施設、コンビニなどにも設置してあります。いざという時のために、普段から**どこにあるかを確認**しておく事も大切だと思います。



青少年の健全育成を進める県民大会 7月

講演 **必要とされることの意味～自分探しの旅とボランティアライフ**
講師 興梠寛氏(昭和女子大学特任教授)

- ★青少年に対する4つの支援
- ①共感すること
 - ②居場所等の支援
 - ③情報提供
 - ④評価すること

「青少年は必要とされて、初めて大人になれる」そのために「生きる力を育み、**自己肯定感を養える居場所や機会**を大人が作っていくことが大切」と提言。さらに、「社会参加のきっかけとなる青少年たちのボランティア活動をもっと応援する大人、地域社会にならないといけない」という言葉に深い感銘を受けました。

県青少年指導員大会 11月

講演 **子どもを叱れない大人たちへ**
講師 桂才賀師匠
(落語家、少年院篤志面接委員)

「怒る」は攻撃的な言葉で怒りを押し付けること。
「叱る」は単に過ちを正してあげること。
子どもたちは、身近な人からのひと言に傷つき、ひと言に救われる。**愛情を持って「叱る」**ことが、子どもたちに必要なことだと教えていただきました。



※町事業のお手伝い

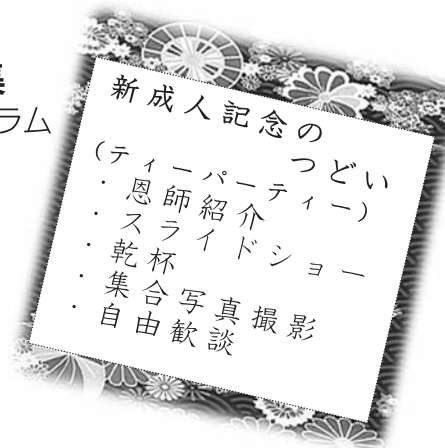
- ・青少年おもしろ講座 (ペットボトルロケット飛ばし他)
- ・社会を明るくする運動
- ・大磯チャレンジフェスタ・大磯小学生駅伝大会
- ・青少年健全育成連絡会・大磯町生涯学習推進会議・放課後子ども総合プラン

成人式をサポート H27.9~28.1 ~260名が大人の仲間入り~

大磯町では、町主催の「成人式式典」と、成人式実行委員会主催の「新成人記念のつどい(ティーパーティー)」を開催しています。毎年、「新成人記念のつどい」は新成人たち自らが企画・準備をし、手作りのものとなっています。

☆実行委員会(毎月1回)

- 9月~12月 広報おおいそ7月号で**実行委員を募集**
つどいの内容、記念品、案内状・プログラムのデザイン決定
- 1月 会場下見、当日の受付・進行
反省会



青少年カフェ



《どうして実行委員になろうと思ったの?》《やってみてどうだった?》
《大磯町について思うこと》などを話してもらいました。

・やらずに文句を言うより**自分がやろうと思った**。 ・**兄弟も委員をやっていたのでやりたかった**。

・大きな規模で大変だったけど**いい経験**になった。

企画・運営・人をまとめる事の難しさを学べてよかった。

・自分の**考えを生かせる場**をもらえて良い思い出になった。

・みんなが**意見を出し合**ってできて良かった。

・他の中学だった人とも**仲良**くなれて良かった。

・自分を成長させるチャンス。これからの**弾み**になった。

・ここで出会えたのも何かの縁。これからも繋がっていかれたらいいなと思う。皆さんとの出会いはこれからの**財産**。皆さんにとっても**実行委員の経験**が**いい思い出**になり、さらにこれからの**繋**ぎてもらえればと思います。**頼りない委員長**についてきてくれてありがとう!

★成人式実行委員のメンバー(敬称略)
黒江貴裕(委員長)・岩淵航平(副委員長)
金城緋利・二挺木葉月・二挺木李美・知念翔太
内海七夕美・遠藤郁弥・河西美波・二宮将太

当日ボランティア(高3)

姉に誘われてボランティアに参加しました。先輩が振袖姿で綺麗でした。2年後の成人式の勉強になりました。



仲のいい友達
いたから。

・**企画する楽しさ**が
わかった。

・前から広報を見ていて
昨年はボランティアで
参加。今年**はやりたい**
と思った。

・大磯町は静かで、
みんなが友達
てところがいい。
・ずっと住みたい。
・子育てしたい。